

# TOPICS トピックス



吉備国際大学女子サッカー部を公式スポンサーとして応援しています。(神原スポーツ公園) (23. 4. 24)



第25回理事長杯ゲートボール大会を開催いたしました。(新見市正田:憩いとふれあいの公園) (23. 6. 13)



「信用金庫の日(6月15日)」に各営業店においてボランティア活動を実施いたしました。(23. 6. 15)



子育て支援の一環として200万円を高梁市に贈呈しました。この支援金により高梁市内の幼稚園に『芝』を植えました。(津川幼稚園) (23. 6. 16)



新見ふるさと祭りの団体連に参加いたしました。(23. 8. 6)



備中松山踊りの団体連に参加いたしました。(23. 8. 15)



第7回しんきん合同ビジネス交流会を開催いたしました。(コンベックス岡山) (23. 9. 14)

## 金庫創立60周年記念特別預金



備北信用金庫では金庫創立60周年を記念して、特別金利の預金を取り扱っています。取扱期間が限られておりますので早めのご利用をお願いいたします。



## 商品のご案内

金庫創立60周年記念特別融資  
備北信用金庫では金庫創立60周年を記念して、特別金利の融資を取り扱っています。お気軽にご相談ください。

# カーライフプラン



実行日が平成24年3月30日までは金利を引き下げます。

詳しくは店頭でご確認ください。

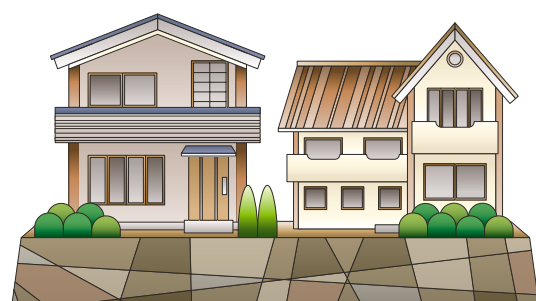
60周年を記念して 今なら通常金利より <b>-0.8%</b>	通常(固定金利) <del>年3.1%</del> 年 <b>2.3%</b>	お取引に応じて <b>最大-0.9%</b>	特別金利(固定金利) 年 <b>1.4%</b>
--	---	---------------------------	-----------------------------

# 住宅ローン

## びしんの「楽しいわが家」

住宅ローンの借換えにもご利用できます!!

〔実行日が平成24年3月30日までは金利を引き下げます〕



周期固定金利型

びしんの住宅ローン「楽しいわが家」は3年、5年、10年の3つの期間の中から一定期間だけ金利を固定する周期固定金利型の住宅ローンです。最初の固定期間の金利は所定の条件によって異なります。また最初の期間終了後も所定の内容により一定の割合で金利を引き下げます。詳しくは店頭でご確認ください。

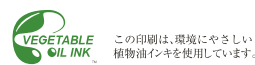
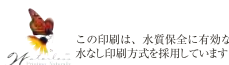
### 店舗一覧表

本店営業部	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1	TEL.0866-22-2191	FAX.0866-22-0091
成羽支店	〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2	TEL.0866-42-2644	FAX.0866-42-2646
下町支店	〒716-0022 高梁市下町23番地	TEL.0866-22-2376	FAX.0866-22-3797
賀陽支店	〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2	TEL.0866-54-1335	FAX.0866-54-1336
北房支店	〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3	TEL.0866-52-3151	FAX.0866-52-3152
落合支店	〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3	TEL.0866-22-1500	FAX.0866-22-1526
新見営業部	〒718-0003 新見市高尾2482番地の1	TEL.0867-72-4411	FAX.0867-72-1895
中央支店	〒718-0011 新見市新見866番地の1	TEL.0867-72-2160	FAX.0867-72-7716
正田支店	〒718-0013 新見市正田257番地の11	TEL.0867-72-0724	FAX.0867-72-0471
大佐支店	〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2	TEL.0867-98-2878	FAX.0867-98-2877
本部	〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1	TEL.0866-22-2191	FAX.0866-22-7533
事務センター	〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7	TEL.0866-22-2192	FAX.0866-22-2791



豊かな明日へのおつたひ  
備北信用金庫  
登録金融機関 中国財務局長(登金)第43号

http://www.shinkin.co.jp/bihoku/  
〒716-0037 岡山県高梁市正宗町1964-1 TEL.0866-22-2191 FAX.0866-22-7533



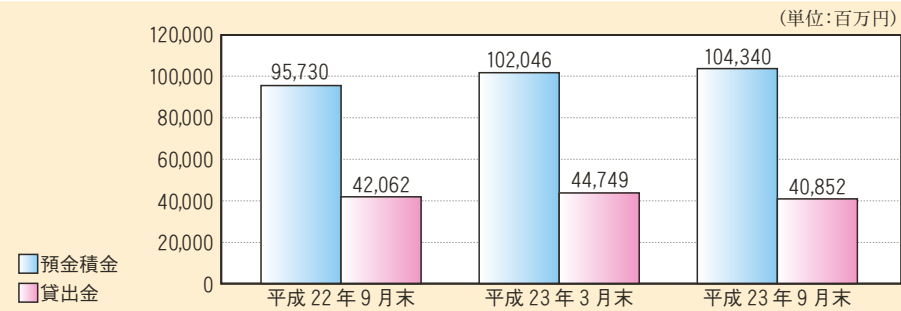
この冊子には再生紙を使用しています。

## ごあいさつ

平素より備北信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。  
この度、みなさまに備北信用金庫をよりご理解いただくために「2011年9月 ディスクロージャー誌 BIHOKUSHINKIN BANK REPORT」を作成いたしましたのでご覧ください。  
備北信用金庫は地域のみなさまとともに歩み、みなさまに信頼される金融機関を目指して参りますので、今後ともより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
理事長 柴倉 清

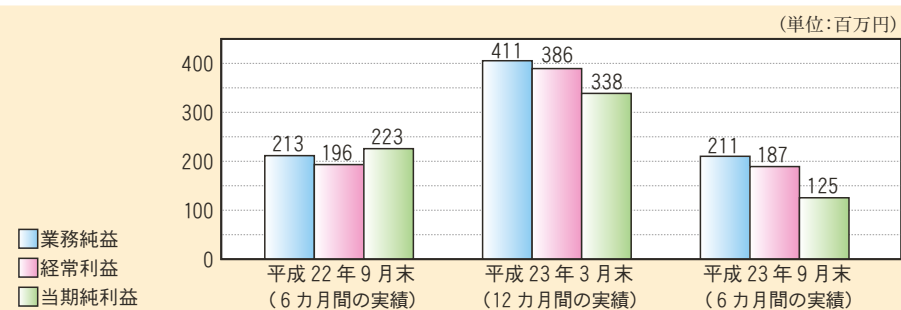
## 預金・貸出金の残高

- ・預金は60周年の記念定期預金キャンペーンをはじめ、退職金、年金などに取り組みました。
- ・貸出金は金融円滑化に伴う緊急保証制度や住宅ローン・カードローンなどに取り組みました。



## 損益の状況

収益の柱である貸出金の増強に努めるとともに、余裕資金の安全な運用と経費節減に努めました。また、金融商品の販売にも注力しました。



## 有価証券の状況

その他有価証券で時価のあるもの (単位:百万円)

	平成23年3月末残高				平成23年9月末残高			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	11,061	335	353	17	11,120	338	347	8
株式	206	136	141	4	181	115	121	5
債券	10,854	198	211	12	10,938	222	226	3
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

満期保有目的の債券で時価のあるもの (単位:百万円)

	平成23年3月末残高			平成23年9月末残高				
	貸借対照表計上額	含み損益	うち益	うち損	貸借対照表計上額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	10,651	192	207	15	11,149	237	240	2

時価のない有価証券の内容と貸借対照表計上額 (単位:百万円)

内容	平成23年3月末	平成23年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
その他有価証券非上場株式	8	8



## 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	平成22年9月末残高	平成23年3月末残高	平成23年9月末残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	459	369	377
危険債権	694	765	850
要管理債権	—	—	—
正常債権	41,387	44,060	40,043
合計	42,540	45,196	41,271

注1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

注2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

注3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

注4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

## 金融円滑化法の対応について

備北信用金庫は、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の制定を踏まえ、お客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに地域のお客さまの経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取組むことは、当金庫の最も重要な役割の一つであると認識し、業務の健全性及び適切性を確保しつつ、金融仲介機能を積極的に発揮してまいります。実施状況については以下のとおりになっています。

なお、昨今の厳しい経済環境の中、地域中小企業者等のみなさま方への金融の円滑化を図るため、ご融資をご利用いただいているお客さまを対象に、貸出条件の変更等のご相談窓口を各営業店に設置しておりますので、お気軽にご相談ください。

### 貸付条件の変更等の実施状況(平成23年9月分まで累計)

中小企業者に対する貸出条件の変更等の実施状況	債権数	金額
実行	373	4,944
謝絶	7	212
審査中	7	408
取下げ	2	32
信用保証協会保証債券に係る申込みのうち実行した先	170	1,214
信用保証協会保証債券に係る申込みのうち謝絶した先	2	29

(単位:件、百万円)

	債権数	金額
実行	34	434
謝絶	4	62
審査中	1	7
取下げ	12	154

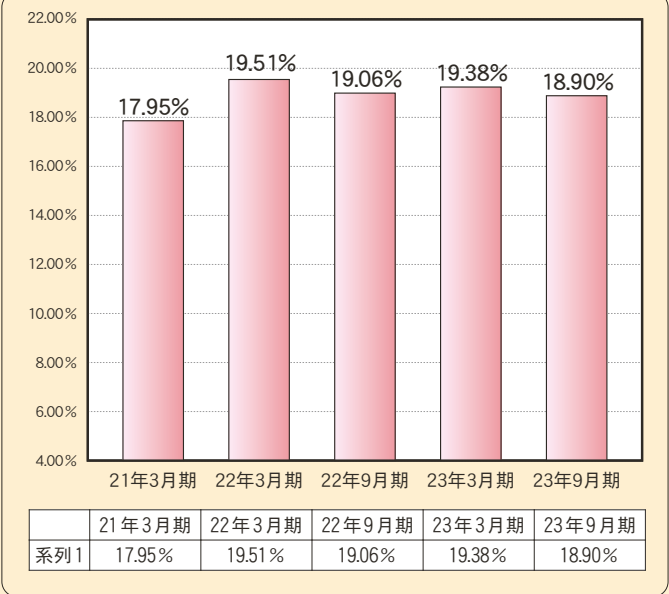
## 当金庫の自己資本比率について

(単位:百万円)

項目	平成22年9月期	平成23年3月期	平成23年9月期
出資金	330	330	330
利益準備金	330	330	330
特別積立金	6,450	6,800	6,800
次期繰越金・その他	302	54	179
その他有価証券評価差損	—	—	—
基本的項目 Tier1 (A)	7,412	7,514	7,639
一般貸倒引当金	18	26	38
補完的項目 Tier2 (B)	18	26	38
自己資本相当額 ((A)+(B))(C)	7,430	7,541	7,677
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	1,121	1,121	1,121
控除項目不算入額 (Δ)	1,121	1,121	1,121
控除項目計 (D)	—	—	—
自己資本額 ((C)-(D))(E)	7,430	7,541	7,677
資産(オンバランス項目)	35,637	35,601	37,328
オフ・バランス取引項目	388	348	320
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除した額	2,952	2,951	2,951
リスク・アセット等計 (F)	38,978	38,901	40,601
単体Tier1比率 (A/F)	19.01%	19.31%	18.81%
単体自己資本比率 (E/F)	19.06%	19.38%	18.90%

## 自己資本比率 18.90%

我が国において、国内業務だけを行う金融機関の最低所要自己資本比率は4.0%(国内基準)であります。当金庫の自己資本比率18.90%は、この基準を大きく上回り、業界内でも上位に位置し、経営の健全性、安全性を十分保っていると評価しています。



## 【用語解説】

○リスク・アセットとは、リスクを有する資産(貸出金や有価証券等)を、リスクの大きさに応じて掛け目を乗じ、再評価した資産金額です。

○オペレーショナル・リスクとは、金庫の業務上において不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことをいいます。具体的には、事務事故やシステム障害、内部不正行為等、損失を被る広範なリスクをオペレーショナル・リスクとして、直近3年間の粗利益の15%の平均値をオペレーショナル・リスクとしています。それを8%で除した額を自己資本比率算出において、分母にリスク資産として追加しています。

○基本的項目Tier1とは、自己資本比率規制の中で使われる概念で、自己資本の中の基本的項目であり、出資金・資本剰余金・利益剰余金等から構成されます。

○補完的項目Tier2とは、自己資本比率規制の中で使われる概念で、自己資本の中の補完的項目であり、一般貸倒引当金、土地評価差額金の45%相当額、負債性資本調達手段等から構成されます。



## 自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

イ.信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	平成23年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額 <sup>※1</sup>
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー <sup>※2</sup>	37,649	1,505
現金	—	—
ソブリン向け <sup>※3</sup>	29	1
金融機関・第一種金融商品取引業者向け	14,502	580
法人等向け	12,299	491
中小企業・個人向け	4,759	190
抵当権付住宅ローン	1,678	67
不動産取得等事業向け	2,175	87
三月以上延滞等 <sup>※4</sup>	230	9
取立未済手形	1	0
信用保証協会の保証付	333	13
出資等	520	20
上記以外	1,118	44
②証券化エクスポージャー	—	—
③複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)の内、個々の資産把握が困難な資産	—	—
ロ.オペレーショナル・リスク <sup>※5</sup>	2,951	118
ハ.単体総所要自己資本額(イ+ロ) <sup>※6</sup>	40,601	1,624

- (注)  
 ※1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%  
 ※2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。  
 ※3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いはなっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体のことです。  
 ※4. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
 ※5. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

- ※6. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

## 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の増減及び貸出金償却額

(単位:百万円)

	平成23年9月期				期末残高
	期首残高 (平成23年3月末)	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	23	35	—	※23	35
個別貸倒引当金	413	428	—	※413	428

※洗替えによる取崩額 (単位:百万円)

	平成23年9月期
貸出金償却額	—

## 信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位:百万円)

	平成23年9月期	
	適格金融資産担保	保証
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー	1,408	6,758

## 出資等エクスポージャーに関する事項

(単位:百万円)

	平成23年9月期	
	貸借対照表計上額 <sup>※1</sup>	時価
上場株式	181	181
非上場株式等	353	353

※1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。

## 金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

	平成23年9月期
銀行勘定の金利リスク <sup>※1</sup>	490

※. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫の計測手法はその他計算方式(有価証券G P S方式、そのほかの資産負債は金利ラダー方式)、金利ショック幅は保有期間1年、観測期間5年分の金利変動データの1パーセント値と99パーセント値を使用し、銀行勘定の金利リスク量を算出しています。  
 ・要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等流動性預金の額の50%相当額を0~5年の期間に均等に振り分けて(平均25年)リスク量を算定しています。  
 ・銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算定します。  
 銀行勘定の金利リスク(490百万円)=運用勘定の金利リスク量(1,078百万円)+調達勘定の金利リスク量(Δ588百万円)

## 信用リスクに関するエクスポージャー

(単位:百万円)

	平成23年9月期		
	信用リスクエクスポージャー期末残高	貸出金、オフ・バランス取引 <sup>※1</sup>	債券
三月以上延滞 <sup>※2</sup> エクスポージャー	—	—	—
残高	41,261	21,990	153

- ※1. オフバランス取引はデリバティブ取引を除く  
 ※2. 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞しているエクスポージャーのことです。